

横浜型地域貢献企業【最上位】認定取得

月刊

リサイクル デザイン



No.171 ● 2008. 12

特集

リサイクルデザインフォーラム2008

地球にやさしいリサイクル

～ストップ the 温暖化～

10月26日
大さん橋ホールにて
開催しました



合言葉は
「もったいない」♪


RECYCLE
Design

<http://www.recycledesign.or.jp>

10月26日
 大さん橋ホールにて
 開催しました

リサイクルデザインフォーラム2008

地球にやさしいリサイクル

～ストップ the 温暖化～

「横浜のみなさんと一緒にリサイクルや地球環境のことを考えたい」
 ……そんな思いから始めた年に一度のイベントも、今年で14回目。
 子どもたちが熱心に描いてくれた環境絵日記の展示、特別賞表彰式
 のほか、楽しみながら学べるコーナーをいろいろ用意しました。

はじめに

横浜市資源リサイクル事業協同組合
 理事長・秋元康男



私たちは、このイベントのタイトルにもなっている「リサイクルデザイン」という言葉に「リサイクル社会をデザイン・創造していこう」という気持ちを込め、日々、リサイクル業に努めています。環境絵日記の応募総数は年々増え、今年は過去9年間で最も多い9548作品。うれしいですね。作品の中に「創造」の芽がたくさん表れています。

題名 江戸時代のリサイクルを学ぼう！



加藤賢太さん (南区・石川小5年)

リサイクルデザイン大賞

環境絵日記発表会・
 表彰式

会場に展示したのはリサイクルデザイン賞に選ばれた517作品。その中から次の8作品を特別賞に決定し、発表会・表彰式を行いました。

8月19日(火) 天気 ☀

ぼくは、本で、江戸時代が、今では考えられない程のリサイクル社会だったことを知った。ぼろぼろのかさや、げた、欠けた茶わんまで、直してもらって何年も使うんだ。なべを持って豆腐を買いに行く。野菜はもちろんバラ売りだから、バックのゴミなんて、出るはずがない。灰まで買い取って肥料に使っていた。まるでリサイクルの国まりだ！

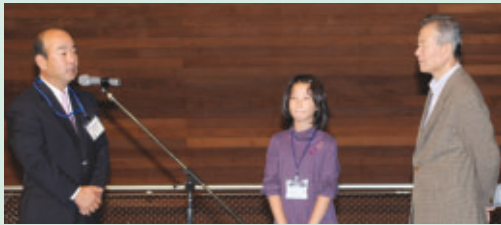
「ゴミを減らすことも温暖化ストップにとっても重要なことはみんな知っている。もし、江戸時代の人達を現代に連れて来ることが出来たら色々なリサイクルの知識や精神を教えてもらえたらう。きっと、江戸時代の人々が現代人の「ゴミを見たら「もったいない！」とおこるにちがいない。」と

講評

●非常に色鮮やかです。江戸時代の優れたリサイクル社会に着眼し、学校の教室を舞台にして想像力を働かせて描いてくれました。審査員全員一致で大賞に決まった作品です。これからも作品にあるような広い視野でリサイクルについて考え、行動してください。

当組合理事長 秋元康男

横浜市長賞



講評

● おじいちゃん、どうぞ一緒に舞台へ！
 良いお孫さんでうれしいでしょう。絵日記に描かれているように、私たちにできることは身近にたくさんあるんですね。それに香織ちゃんは気づいた。きっと、おじいちゃんのことを大好きで、つぶさに観察していたからですね。

当組合理事長 秋元康男



題名 満点おじいちゃん



もろすみかおり
 両角香織さん（港北区・菊名小4年）

7月28日（月） 天気 ☁

私のおじいちゃんは、毎日サイクル缶で温だしを止めています。その内ようをしょう紹介します。
 まず、朝は5時に起き、米のとぎ汁を使い終わったお茶の葉っぱに粉を庭の花木にまきます。これは肥料がわりになるそうです。
 それから朝ごはんを食べて仕事に行きます。前は、車に乗って通っていたけれど、今はカニン代も高いし、酸化炭素を出さないために電車通っています。
 帰ると洗たくで、使った風呂のさらに、残った水を、家の周りにまきます。すると涼しくなります。それから、お風呂に入って、夕ごはんを食べ、8時には、ねます。エアコンは草だそうで、窓を全部あけて風を通してねます。
 おじいちゃん一度も入院した事もなく、とても元気なこいいます。それに、電気もほとんど使っていないし、自動車も乗っていないので、酸化炭素をほとんど出していない。そのうえ、木を育てて酸素を出しているの、満点おじいちゃんです。じまのおじいちゃんを景賞します。

横浜市会議長賞

題名 小さな心がけで平和な地球



講評

● イランはお父さんの国なんですね。幸せなご一家の様子が表現されています。こういう幸せがいままでも続くように、お友だちとも協力して環境を守る行動を広めていってください。

横浜市会議長

吉原訓さん



わだ まりあ
 和田茉莉亜さん（旭区・ひかりが丘小4年）

8月9日（土） 天気 ☀ → ☁

私の父はイラン人です。みんなはイランがどんな国か知っていますか？ 夏は40度以上ですが冬は首都テヘランでも雪が積ります。私の祖母がくす村では、冬には10以上の雪が積るほどです。
 雪はとけて豊富な水資源となります。そのためイランは石油だけでなく牧草地が広がり、農作物にも恵まれた国です。私はイランでピスタチオや、クルミ、メロン、ブドウ、トマト、キウリ、レモンを並べて、キャバブをみんなで食べた思い出がい出があります。ところが7才になる私の祖母が今年、まったく雪がふらなかつたと言っていました。私はすぐに地球温暖化のせいだと思いました。テレビで聞いただけで私にとっては家族の生活の問題になりました。ザクロ山脈麓で、キャバブを食べた事がたの思い出にならぬよう私はクーラーを使わずに、ノートや紙のムダ使いを心がけていません。私ができる事が他にもたくさんありますが、リサイクルで心配のない地球にしたいと思っています。



講評

●夏休みに、お父さんとふたりで考えてこれを作ったのですか？ すばらしいアイデアですね。智也君の家では今もこれを使って庭の水やりをしているそうですが、そのように実際に行動を継続することが大切ですね。

横浜市資源循環局資源化推進部長 白崎勇紀さん



横浜市資源循環局長賞

題名 ぼくの、節約エコ装置



佐々田 ともや
（港南区・小坪小5年）

8月17日（日） 天気 ☔

ぼくは最近きかない水しか、飲めない子供達がいることをテレビなどで知りました。ぼくは、その子供達をかわいそうだと、思いました。だからぼくは、すごい装置をお父さんと一緒に考えて作りました。それは、節約エコ装置でどのような仕組みかというと、屋根に降った雨がパイプを通りポリ容器に入っていきます。そこから水を出して、花にあげます。雨水を再利用することでエコになり、節約できます。ぼくはこの装置を作った良かったです。これからも水の大切さについて考えていきたいと思いました。

横浜資源化協議会賞

とりやまそうた
鳥山颯太さん（保土ヶ谷区・岩崎小1年）

題名 ありがとう



8月18日（月）天気 ☀

ぼくは、ともだちのおにいさんに、つかわなくなつたおもちゃや、ほんようふくをもらいだいじにつかいました。おとうもつかい、まだきれいなので、こうえんのちいさなともだちにあげたらよろこんでくれました。ありがとうございます。つづいてます。

講評

●多くの人に経験のある、いわば日常的なことを、温かい心で受け止めて一枚の作品に仕上げてくれました。「ありがとうはまだつづいています」という言葉がたいへん印象的です。大人にはなかなか思いつかない、強く心に響く言葉ですね。

当組合副理事長 宗村隆寛

講評

●下のほうに、夜空を見上げるお母さんと隙汰くんがなかよく並んで描かれています、非常に幻想的で美しいです。西表島の星の美しさに感動する気持ちと横浜の夜空の現状が分かる文章であり、美術的にもすばらしい作品です。

横浜市教育委員会教育長 田村幸久さん

講評

● なつかしさを誘う絵日記です。縁側でふとんを干すと、暖かくて気持ち良いですね。心のこもった物を長く大切に使おう、もったいない、という気持ちが表現されていてすばらしいです。
NPO法人横浜市集団回収推進部会

副理事長 近藤廣



● 題名 昔から今へ、今から未来へ受け継ぐリサイクル ●



『よこはま市民の回収』賞
杉原直樹さん (保土ヶ谷区・星川小6年)

8月10日(日) 天気 ☀

ぼくは今日、おばあちゃんの家に行きました。おばあちゃん、座布団カバーを洗った中で、座布団は、縁側で日に干されていた。よく見ると手ぬいだ。「これ、おばあちゃんが作ったの?」と聞くと、おばあちゃんは、「それは、ひいおばあちゃん。使わなくなつたお布団をぬい直して、作ってくれたの。」と答えた。「スゴイ、ひいおばあちゃんのリサイクル座布団。今でも使ってるんだ。」とぼくが言うと、「昔の綿は、今のと違ってとてもいいものなのよ。日に干せばフツカフカなんだから。捨てるやうなてもつたない。」と教えてくれた。昔の人もリサイクルをしていた。だから、地球は守られてきたんだ。ぼくも未来の人のために今、自分に出来るリサイクルをしなければ!と思った。「ひいおばあちゃん、座布団。今も使ってるよ。」とぼくは、仏壇に手を合わせ、心の中で報告した。

コード
Co-Do 30 賞

ないとうもえか
内藤萌香さん
(港北区・菊名小5年)

● 題名 環境にいい家 ●



7月27日(日) 天気 ☀
私は、今日環境にいい家を考えました。工夫したところは、タンクに雨水をためて、その水をもう一度つかえるようにしています。窓を大きくして、風通しよくクーラーはつかわないようにしています。水は井戸水を使います。電気は風車で作ります。かべと屋根に草花で包み温度が上がるのをふせぎます。わたしはこの家が温暖化をすこしも止められると思いました。いつか住んでみたいです。

● ハッとするようなアイデアですが、ひとつひとつ理にかなっています。夢の多い作品は他にもたくさんありましたが、これは「すぐに実現しそうだな」というところが高得点を得ました。私もこんな家に住んでみたいです。

(株)ダイナックス都市環境研究所代表取締役 山本耕平さん

横浜市教育委員会賞

いとうりょうた
伊藤瞭汰さん (港北区・下田小2年)

● 題名 いりおもて島で見た星 ●



8月4日(月) 天気 ☀

ぼくは、いりおもて島で数えきれないほどの星を見ました。「どうしてよこはまでは、星が少ししか見えないの。」とおかあさんに聞きました。おかあさんは、「こゝちは明るすぎるんだよ。」と教えてくれました。ぼくは、みんながむだな電氣をつけないようにすれば星がたくさん見られるし、ちきゅうをまもれるのになと思いました。

環境絵日記 講評



選考委員長
山本耕平さん

今年の作品は家族の思い出を描いていて、とても表情が良いです。ステージに「満点おじいちゃん」が登場してくださいましたが、実際の笑顔もすばしかったです。山肌に雪が残るイランの風景や、「ありがとうはまだつづいている」という言葉、そういった新鮮な感性に感動しながら選考しました。みなさん、おめでとうございます。

受賞した
希望ヶ丘小学校の
副校長・水谷吉治先生に
うかがいました

低学年の部

中区・元街小学校



24作品入賞

高学年の部

旭区・希望ヶ丘小学校



14作品入賞

旭区・二俣川小学校



14作品入賞

神奈川区・三ツ沢小学校



14作品入賞

学校賞

学校賞とは、リサイクルデザイン賞入賞作品が多かった学校をたたえる賞です。今年は低学年の部と高学年の部に分け、合わせて4校が受賞しました。

「希望ヶ丘小学校ではアルミ缶本体とプルタブ、ペットボトルのキャップを集めています。保護者の皆様はじめ、近隣の中学校や保育園のみなさん、地域の方々などが子どもたちの活動をしっかりと支えてくださいます。そんな背景が、環境絵日記に応募する子どもたちの多さにつながったのだと思います。私は今春着任したのですが、子どもたちがみんな、アルミ缶などを学校に持ってきていくことが当たり前だと思っていることに最初はたいへん驚きました。子どもたちに負けないように、私もアンテナを張らなければならないと思っています」

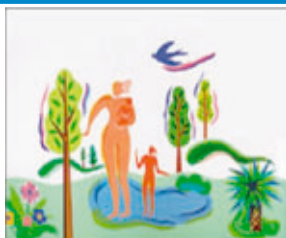
リサイクルデザインフォーラムとは

当組合の地域貢献と3R（リデュース・リユース・リサイクル）のPRのため、平成7年（11月開催）から毎年10月に開催しているイベントです。平成12年、市内の小学生を対象に環境絵日記の募集を始め、小学生とご家族に環境問題について考えるきっかけを提供してきました。来場者数・応募者数の着実な増加に、横浜市民の環境問題への関心の高まりが表れています。



MASUKOH マスコー製紙 株式会社

〒418-0032 静岡県富士宮市浅間町14-12
tel.0544-27-0251/fax.0544-23-4557



青木小学校（神奈川区）
希望ヶ丘小学校（旭区）
小山台小学校・小山台中学校（栄区）
十日市場小学校PTA（緑区）



学校などの団体でアルミ缶を集める体験を通じて、資源のリサイクルの仕組みを理解し、福祉への関心にも発展させることができるプロジェクトです。この秋、目標の量のアルミ缶を集めた小中学校を会場に引き、車いす交換式を行いました。

（車いすと交換せず、アルミ缶の代価を別の用途につかうこともできます）

学校等アルミ缶もつたないプロジェクト 車いす交換式

小山台中学校では「子ども森」というボランティア活動をしています。中でもアルミ缶と車いすを交換し地域の福祉施設に寄贈するこの活動は、ご高齢の方々にたいへん喜ばれています。地域からたくさんの方々の協力を得ていますが、小山台小学校は最大のバックアップをしてくれています。

（小山台中学校生徒会）

お歳暮に贈って喜ばれています!!

お歳暮

りくみちゃんマークの入ったのし紙でお送りします。

地球にやさしい再生品の詰合せ

りくみ



りくみのティッシュ
（200組・400枚）
…1パック 5箱入り

×3

小結くん
おためし巻
…1巻（30m）

りくみのトレペ
（130mシングル）
…1パック 6ロール入り

×4

再生品の詰合せタイプ
2,800円
（送料・消費税込み）

詰合せの箱サイズ 横460mm×縦460mm×高さ355mm

●ご注文、お問い合わせは…横浜市資源リサイクル事業協同組合 TEL045-444-2531

生活・体験ツアー

地球温暖化をこれ以上進行させないために、私たちにはいったい何ができるでしょうか。毎日の暮らしを見つめ直して、自分で実際にできることを探してみましょう。

……そんな呼びかけを、この体験ツアーに込めました。日ごろ分別や回収などリサイクルの現場で働く組合員が、ツアーの進行役を務めました。

START

1 買い物ツアー

地球温暖化って知ってる？ 買い物の時にちょっと気をつけて物を選ぶと、二酸化炭素をたくさん出さずに済むんだよ。

*3R……リデュース（ごみの発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再資源化）

バラ売りの野菜、過剰包装の品物、食べきれないほどの超大盛りお買い得パック、消費期限ぎりぎりの肉類などが並ぶ陳列棚から、子どもたちが自由を選んで買い物を体験。そのあと*3Rについて説明し、ごみをできるだけ出さない買い物のコツを伝えました。

あれ？ たまごの値段が違う、どうしてだろう。

マイバッグを使っていますか？

プラスチックのコップは使い捨てでなく何度でもくり返し使えるよね。



スタッフリーダー・桑原公成さん
（金属資源回収業）

エコな買い物のコツ、分かったかな？ 時間の制限もあってたいへんでしたが、メンバーのアドリブも生かし、楽しくてためになるツアーにしようとがんばりました。

2 家庭ツアー

家庭で活用できそうな省エネ知識をパネルクイズ形式で伝えたあと、子どもたちに発電機付き自転車をこいでもらい、その時に発生する二酸化炭素の量を小さなふうせんで表現しました。省エネ行動は毎日コツコツと続けることが大切というメッセージを伝えるツアーです。

3Rに気をつけた買い物をするために、識別マークやエコマークなどもチェックしてね。

ストップ the 温暖化

3つのツアー全部を
回ったら記念品コー
ナーへ。的当てをし
て、ボールペンや再
生紙トイレットペー
パーなどをゲットし
て終了です。

プラスチック製容器
包装を出すときは、
プラマークがあるか
どうか確かめようね。

ペットボトルは、
このまま出して
いいの？

違う！ ラベル
とキャップを
外すんだよ



スタッフ学生リーダー・

橋本優香さん（明治学院大学4年生）

6月に横浜市環境活動賞の授賞式でこの
フォーラムの実行委員の方と知りあったこ
とがきっかけで、大学の仲間たちとこのフ
ォーラムに参加しました。台本を覚え、子
どもたちに正確に伝えられるように一所懸
命練習しましたが、みんなよ
く聞いてくれてよかった！



3 分別ツアー

お菓子の箱やペットボトルなど、子どもたちにとって身近な
ものの正しい分別方法、どうして分別するのか、再生品にはど
んな物があるのかななどを伝え、ラストをしめくくるツアー。元
気ハツラツな明治学院大学の学生たちが、協力してくれました。

スタッフリーダー・魚地浩司さん（非鉄金属資源回収業）

家庭でできるちょっとした省エネ行動で、どれ
くらいの効果があるのかを知らせたいです。みな
さんが行動するきっかけになればいいと思います。



1つのグループごとに3人、1人20秒
ずつ自転車をこいで発電しました。

100Wの電球を1分間
点灯させる時に発生す
る二酸化炭素は、この
風船ぐらいの量なんだよ。

問題！ 冷房の設定温度を1度高くすると、
暖房の設定温度を1度低くするのは、どちらが
省エネ効果が高いかな？（答え 暖房を1度低くする）



ぶんぶん作り コーナー

竹片に思い思いの色をつけてタコ糸を通し、勢よく音を立てて回る「ぶんぶん」を作りました。小さな竹のかけらひとつでできるおもちゃ作りから、物を活かし切ることの大切さに気づいてほしい、との願いを込めました。



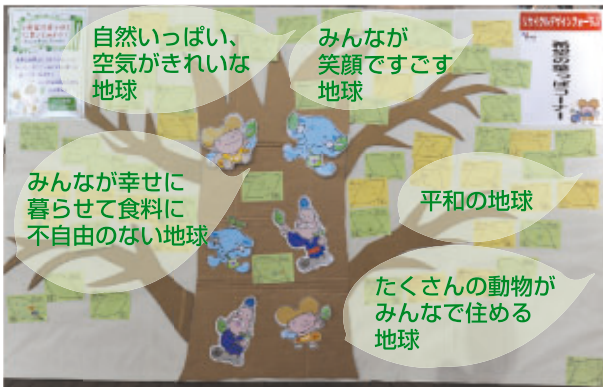
過去最多9548点の応募作品の中から、リサイクルデザイン賞に選ばれたら17作品を会場に展示しました。自分の作品の前でポーズを決めて写真に収まる子どもたちや、絵日記をつくり鑑賞する人たちにぎわいました。ソーラークッカーでカレーを作ったよ、食べ残しを肥料にして朝顔を育てたよ、ごみ拾いに参加したよ、太陽光で温めたためるま湯でお風呂に入っているよ……子どもたちの生き生きとした夏休みの光景がありありと目に浮かびます。

環境絵日記 リサイクル デザイン賞 作品展示



希望の葉っぱ コーナー

「こんな地球にできたらいいな」……みんなの希望を葉っぱに書いて、大きな木にどんどん貼っていきましました。時間とともに木の葉は繁り、地球への願いに満ちあふれていきました。



りくみちゃんと エコバッグ コーナー

リサイクルデザインのイメージキャラクター・りくみちゃんや、その仲間のエコ仙人、へらぞう君の絵を布袋に自分で描き、マイバッグを作るコーナーです。りくみちゃんの作者・勝野真美さんが描き方を指導してくれました。



食事と休憩・スリーエフ

来場者が持参してくれた新聞・チラシ、雑誌をエコマネーに交換しました。エコマネーは、この日パシフィコ横浜で開催されていた「だがしや楽校」の会場だけで使える通貨です。1日で、新聞・チラシは360kg、雑誌は120kg集まりました。資源物の回収にご協力いただき、ありがとうございました。

横浜生まれのコンビニ・スリーエフが、去年から引き続き協力してくれました。会場では、レジ袋を薄くしたり店舗での温度調節で省エネに努めるなどの平素の取り組みも紹介されました。



3R検定の紹介

本誌でもおなじみのエコ検定とはベツモノ。3R検定は、3Rの意味や意義をより深く理解し、実際の行動に移すために有効です。詳細はホームページに。
<http://www.3rkentei.jp/>

エコマネー交換所

今年のテーマ “ストップ the 温暖化”の シンボル エコegg

今年のリサイクルデザインフォーラムは、*Co-Do30の力になれるようにと考えました。

目に見え

ない二酸化

炭素を表現

するために、

会場にふたつ

の風船を用意し

ました。写真の大

きいほうの風船は、

1日の暮らしの中で

排出する二酸化炭

素1人分、小さ

いほうの風船

は削減すべき

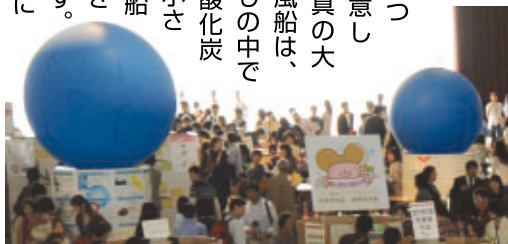
目標の量です。

かなり大幅に

減らす必要があ

るということが、お分かり

いただけたでしょうか。



ファイバーリサイクル ネットワークの 貝がらと余り布で作る 金魚

永年、着物のリユース

や古布のリサイクル

活動を続けている

ファイバーリサ

イクルネットワ

ークのみなさん

の指導のもと、

ペットボトルを

再利用したフ

レームの中で

揺れる金魚

を作りました。



三菱鉛筆

環境保護に配慮して作られた筆記具
各種を展示、紹介してくれました。



*Co-Do30

(横浜市地球温暖化対策事業本部)

2025年までに一人
当たりの温室効果ガスの
排出量を30%削減しよう
という行動方針「Co-
Do30」のことを、市民
に広く深く知ってもらう
ためのコーナーです。市
の職員が説明にあたっ
てくれました。

オリジナルグッズ販売

りくみのトレペ、りくみ
のティッシュ、小結くん
などの古紙再生品や、オリジ
ナルりくみちゃん文具など
を販売しました。この日限
りのお買い得品も多数用意
し、大好評でした。



大川印刷

本誌170号か
ら印刷を担当して
いる大川印刷のス
タッフが、一般
なインキ、大豆イ
ンキ、ノンVOC
インキの見本持参
で「環境に優しい
印刷」について説
明。インキにお
いがかぐと、その
違いがよくわかり
ました。



金属委員会

アルミ缶を集めて福祉などに役
立てる「学校等アルミ缶もった
いプロジェクト」の説明、2種
類の車イス(自走式、
介助式)の展示な
どを行いました。



子ども環境会議

特別賞を受賞した子どもたち8名と
いっしょに、今年のテーマ「ストップ
the 温暖化」について考える会議
です。絵日記にこめたそれぞれの思い
も聞きました。

参加者

加藤けんたさん	(小5)
両角かおりさん	(小4)
和田まりあさん	(小4)
佐々田ともやさん	(小5)
伊藤りょうたさん	(小2)
鳥山そうたさん	(小1)
杉原なおきさん	(小6)
内藤もえかさん	(小5)

進行役・戸川孝則
(本誌編集室)

戸川／みんなは、今年の環境絵日記でどんな
ことを伝えたいと思ったの？
けんた／ぼくは、教科書を読んで感じたこと
を描きました。そこには、欠けたお茶わん
をついで使ったり、なべを持ってとうふを
買いに行ったというような話を書いてあり
ました。
かおり／私は、おじいちゃんのエコな生活を
みんなに紹介したいと思って描きました。
茶がらを肥料にしたりエアコンを使わず
を開けたりしています。



科学実験ショー



液体窒素の容器に長い筒を差すと、筒の中の液体窒素が沸騰して体積がふくらみ、吹き出します。



二酸化炭素は私たち
をとりまく空気中にあ
るけれど、気体の状態
だと見えません。でも
ドライアイスは見たこ
とあるでしょ。あれは
二酸化炭素が固体にな
ったものなんだよ。氷
よりもずっと低い温
度で固体になっていま
す。この会場の室温は
ドライアイスにとって
はものすごい暑さで、
すっごく気体になりた
がっている。その威力
を見せましょう。

低温で固まりドライアイスの粒になって現れます。温度の変化で物質の形は変わるんですよ。



まりあ／私が描いたのはイランのザクロス山脈のふもとです。そこでは地球温暖化で雪が降らないと水不足になり、砂漠のそばで暮らす人たちはとても困ります。

ともや／ぼくは、お母さんが花だんに水やりをするのを見て、水道水がもったいないから雨水を使えないかと思いました。夏休みの自由研究でお父さんと一緒に節約エコ装置を作りました。

りょうた／西表島では星がいっぱい見えませんでした。横浜は電気をいっぱい使って明るいから、星が見えませんか。

戸川／一度、横浜のみんなで電気を消して星を見てみたいね。

そうた／ぼくは、みんなでひとつずつ何かをもらっている絵を描きました。弟に小さくなった服を、近所の2歳になったばかりの子にあげたら喜んでくれました。これが地球温暖化ストップのきっかけになるかなーと思いました。

なおき／会ったことのないひいおばあちゃんの作った座布団を見て、昔から今まで受け継がれてきたリサイクルの大切さをみんなに伝えたいと思い、絵日記にしました。

もえか／私の家はマンションだけど、いつかこういう環境にいい家に住みたいと思って描きました。

戸川／地球温暖化を防ぐためには、みんなが絵日記に描いたような環境にいいことを続けて二酸化炭素の発生量を減らさなくちゃいけないね。さて、みんなはその二酸化炭素を見たことある？

一同／うーん……。
戸川／じゃあ、理科実験教室の北原淳先生に教えてもらおう！

北原淳先生の

閉会のごあいさつ



リサイクルデザインフォーラム
2008 実行委員長
大内敦（家庭資源開発／鉄・
非鉄金属・古紙等の収集運搬業）



▲ 液体窒素はマイナス196度と非常に低温なので、常温で沸騰します。



▲ 息を吹き込んだ袋を液体窒素の容器の中に入れると、息に含まれる二酸化炭素が

初めて実行委員長を務めました、内外の大勢の方々のご協力のおかげで今年もフォーラムを作り上げることができました。子どもたちから「こういうイベントがもっとたくさんあったらいいな」という感想を聞き、たいへんうれしいです。今は、ありがとうという言葉しか浮かびません。来年もがんばりますので、どうぞご期待ください。

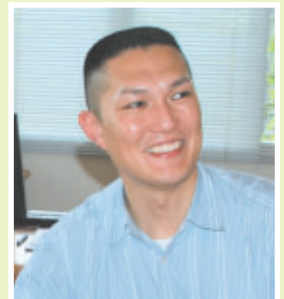
「環境」家計簿で エコ度チェック！

第11話



テルちゃんの
明日天気に
なあれ

佐藤輝



フェリス女学院大学・准教授、
1971年生まれ、東京農工大学環境・
資源学科卒業、農学博士

先進国はこの100年で0.7℃も地球を温暖化させてしまいました。日本では、増えつつある家庭のエネルギー消費を見直すきっかけになればと、各地で環境家計簿の作成が呼びかけられています。ご家庭でひとりひとりが、電気やガスの消費によって毎月どれくらいの二酸化炭素を出しているのか、チェックしてみましよう。

毎月の「電気」「ガス」「水道」の請求書に書いてある使用量や「灯油」のおおまかな使用量、また「缶」「びん」「ペットボトル」等の廃棄量について、環境家計簿（下の表）の空欄に記入して、電卓を使って二酸化炭素の排出量（ご家族の1人分）に換算してみて下さい。

ご存知のように、日本全体では温室効果ガス排出量を1990年レベルから「6%削減」することが求められています。

す。環境省の資料から試算すると、1990年当時の家庭からは「1人当たり毎月95kg」の二酸化炭素が排出されていたので、この6%削減にあたる89kgが目標となります。ちなみにわが家は、過去4年間の平均で67kg、つまり90年比で30%削減という結果でした。

皆さまのご家庭では、「6%削減」が達成されていたでしょうか？特に冬を省エネで過ごすことがとても大事です！なぜなら、一般的な家庭からの二酸化炭素の排出量のうち、暖房由来が2割も占めているからです。これからの季節の過ごし方として、例えば、こたつを使う、エアコンで暖房する、家族が一部屋で団らんする、重ね着をする、鍋ものを食べて体を温める、お風呂では追い炊きをしないうちに家族が続けて入るなど、ちょっとした工夫をすることによって温暖化対策に今すぐ貢献できるのです。



出典：環境省

2008年 月分	電気		kWh	係数 ×0.36	=
	都市ガス		m³	×2.1	=
	LPガス		m³	×6.3	=
	灯油		リットル	×2.5	=
	上下水道		m³÷2ヶ月	×0.58	=
	アルミ缶*1		本	×0.17	=
	スチール缶*1		本	×0.04	=
	ペットボトル*1		本	×0.07	=
	ガラスびん*1		本	×0.11	=
	食品トレー*1		枚	×0.008	=
	ゴミ*2		kg	×0.84	=

合計

÷家族の人数

結果）1人当たり

kg CO²/月



*1：ゴミとして捨てた場合のみ記入。
リサイクルした場合は排出量をゼロとする。
*2：スーパーのレジ袋（大、7リットル）
1つ分を1kgとして概算してもよい。



幼児・小学生・中学生のための
理科実験教室

アインシュタインラボ

生徒募集！

無料体験授業 実施

センター南校 金沢文庫校

TEL 0120-784-644

<http://www.einstein-labo.jp>

お気軽にお電話ください。
(水～金 11:00～、土日 9:30～)



先生・先生を目指す方
のための理科実験講座

2009年 開講！

- 実験授業実践コース
- 実験器具習得コース

さまざまな教育機関で理科実験授業を
志す方のための、実験習得講座です。
個性あふれる理科教育をサポートします。

INFORMATION

リサイクルデザインはこんなこともしています

■最近の活動報告■

リサイクルや分別の仕組みについて知りたい、アルミ缶集めに取り組みたいというたくさんのご要望にお応えする当組合の事業あれこれ、詳細はホームページにあります。ご質問やお申し込みは当組合までどうぞ。

■リサイクルポート山ノ内見学会

(山内埠頭にある当組合施設の見学会、無料)

- 10/2 森が丘自治会文化部(磯子区)
10/7 上大岡第二町内会(港南区)
10/10 菅田南町自治会環境衛生部(神奈川区)
10/16 生麦第一・第二地区消費生活推進員(鶴見区)
10/28 希望ヶ丘南区G30活動委員会(旭区)

■出前講師(リサイクルや3Rに関する講座、無料)

- 10/20 消費生活推進員消費大学(南区) 10/28 田奈小学校(緑区)

■学校等アルミ缶もったいないプロジェクト

(アルミ缶を車イスなどに交換する活動)

- 100kg以上集めた学校
及び車イスと交換できた学校
10/2 桜井小学校(栄区)
10/3 公田小学校(栄区)
10/3 獅子ヶ谷小学校(鶴見区)
10/6 十日市場小学校(緑区)
10/8 東台小学校(鶴見区)
10/10 三ツ沢小学校(神奈川区) 10/23 逗子市立逗子中学校(逗子市)
10/21 希望ヶ丘小学校(旭区) 10/28 柏尾小学校(戸塚区)
10/22 西寺尾小学校(鶴見区) 10/28 つつじが丘小学校(青葉区)

お知らせ

最近の金属相場的大幅な下落に伴い、当プロジェクトのアルミ缶買い取り単価を見直すことになりました。代価を現金でお支払する場合、今までに比べてかなり少ない金額になると思われる場合がございます。ご了承下さい。

リサイクル標準価格表

2008年11月現在 日経11/6

品名	買入価格	業者の売値
	1キロ当たり	1キロ当たり
新聞	0円	12~16円
雑誌	0円	9~11円
段ボール	0円	10~13円
衣類くず	設定不能	0~1円
アルミ缶	* 10~15円	

★集団回収には「買入価格」を適用。＊スチール缶と選別済みの価格★500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。取引条件により多少変化します。★事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。事業所ごとに業者と直接ご相談ください。★段ボールは必ず束ねて出してください。

小結くんは ここで求めください

●横浜市鶴見区・神奈川区・保土ヶ谷区の区役所売店●グリーンバザール(南区)●コミュニティストアすずきや(戸塚区)●御菓子処おきな堂(神奈川区)●武松商事(中区)●村松商店(鶴見区生麦)●ぶらむろーど杉田商店街事務所(磯子区)●バラエティたかはし屋(神奈川区)●どりーむ横浜二番館(西区)●ウッドハウス(保土ヶ谷区上星川)

月刊リサイクルデザインはここにあります

●グリーンバザール(南区六ツ川)●地酒 篠原屋(港北区篠原)●神奈川銀行瀬谷支店●損保ジャパン横浜支店●東京ガス環境エネルギー館●マルエツ大倉山店●相鉄ローゼン三ツ境店・港南台店・大口店・二俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店・モザイク港北店・六ツ川店・釜利谷店・左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・ひかりが丘店・希望が丘店・並木店・南まきが原店・南瀬谷店・ひなた山店・磯子店・オルト新子安店・十日市場店・上星川店・鶴ヶ峰店●マイカル天王町サティ店●ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店●カフェ杜(港北区日吉)●リサイクルショップおおきな木(港北区綱島)●うどんカフェ(青葉区こどもの国)●リサイクルショップ「トロワの森」●横浜国立大学生生活協同組合大会館店・工学部店●神奈川県中小企業団体中央会(中区尾上町)●リセールショップ遊民●WEショップ旭●WEショップかながわ大口店●WEショップかながわ六角橋店●WEショップこうほく●WEショップほどがや天王町店●WEショップちがさき十間坂店●リサイクルショッププランカスタ(西区)●WEショップ・あおばあざみ野南●トヨタカレリア本牧店●JA横浜みなみ総合センター(泉区中田西)●東急ハンス横浜店(西区)●サガン港南台(港南区)●きたじま牛乳店(青葉区)●せんだんの木(戸塚区)●横浜信用金庫 本店営業部・支店(本牧・野毛町・新本牧・市場・潮田・鶴見・末吉・生麦・馬場・駒岡・鶴見駅東口出張所・六角橋・反町・大口・横浜西口・藤棚・吉野町・弘明寺・上大岡・日野・上永谷・芹が谷・保土ヶ谷・西谷・鶴ヶ峰・三ツ境・根岸橋・栗木・金沢・六浦・福浦・富岡・大倉山・高田・新横浜・新羽・綱島・中山・十日市場・鴨居・青葉台・あざみ野・センター南・センター北・戸塚・戸塚東口・東戸塚・和泉・いずみ中央・瀬谷)

編集室から

リサイクルデザインフォーラム2008。今年も皆様のご協力により盛況のうちに終える事ができました。今年のテーマは「温暖化防止」という事で行いましたが、今回のフォーラムを通して1日でも「温暖化防止」について考えていただけたなら幸いです。

また、来年に向けて今年より充実したフォーラムを作るべく、フォーラム実行委員会ははじめ組合員が一丸となって、環境絵日記並びにフォーラムに取り組んでまいりたいと思います。

(フォーラム実行委員長 大内敦)

月刊リサイクルデザイン No.171

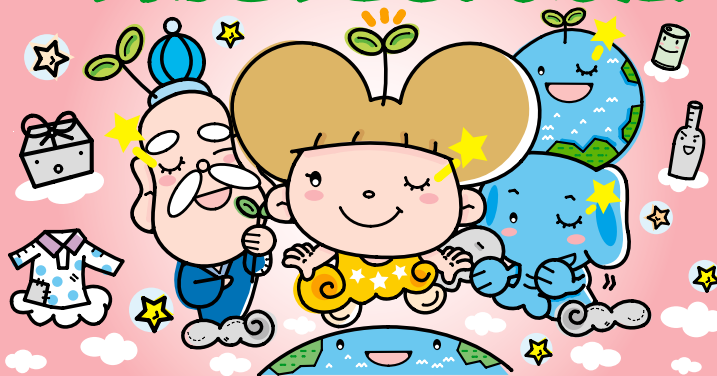
発行所: 横浜市資源リサイクル事業協同組合
〒221-0054 横浜市神奈川区山内町13番地
TEL 045-444-2531/FAX 045-444-2532
発行日: 2008年11月25日 発行人: 秋元康男
編集人: 工藤健一
広報企画委員会: 山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継
杉山宜利・芦澤博志・宗村隆寛・栗原清剛・大内敦
船崎健・湯上裕樹・藤本達也
編集室: 戸川孝則・竹澤留美
制作: (企)エコ・アド 印刷: (株)大川印刷

お問い合わせ 広告商品のご注文

横浜市資源リサイクル事業協同組合(通称リサイクルデザイン)
TEL 045-444-2531/FAX 045-444-2532

●広告は随時募集しています
お問い合わせは左記へ

ありがとうございました!



リサイクルデザインフォーラム2008★無事終了いたしました!



今回のフォーラムでは、大勢の方からのご協力をいただき、大成功のうちに終えることができました。厚く御礼申し上げます。

★協賛団体★



(株)スリーエフ

特定非営利活動法人 横浜市集団回収推進部会

横浜資源化協議会

三菱鉛筆東京販売(株)

株式会社金澤紙業

永田紙業株式会社

明成物流株式会社

神奈川三菱ふそう自動車販売株式会社

ShinMaywa 新明和工業株式会社

横浜日野自動車株式会社

横浜スバル自動車株式会社

日立建機株式会社 Hi-SS

トヨタエルアンドエフ神奈川(株)

新南株式会社

有限会社金森工業所

有限会社酒井住宅設備

ケア産業株式会社

積水ハウス株式会社 横浜北支店

相模鉄道株式会社

京浜急行電鉄株式会社

株式会社ダイイチ

横浜信用金庫 横浜西口支店

アルミ缶リサイクル

株式会社横浜プリント

株式会社大川印刷

神奈川労務管理事務所

株式会社オフィス・アルファ

エヌケイサポート有限公司

税理士法人影近・前田事務所

理科実験教室 アインシュタインラボ

横浜市資源回収協同組合

鎌倉市資源回収協同組合 青年部

神奈川県資源回収商業協同組合

神奈川県硝子原料商業組合

神奈川県金属原料商工業協同組合

(順不同)

★後援団体★

横浜市資源循環局

横浜市教育委員会

横浜市地球温暖化対策事業本部

環境省 関東地方環境事務所

横浜開港150周年

神奈川新聞社

FM横浜

横浜放送局

テレビ神奈川

Fm yokohama 84.7

(順不同)

★協力団体等★

ファイバーリサイクルネットワーク

株式会社シーメーカーズプロジェクト

企業組合エコ・アド

株式会社ナカノフルヴィジョン

かつの工房

武松事業デザイン工房株式会社

佐藤隆夫さん(ブンブン作り)

横浜信用金庫

(順不同)